



マスクの色が顔の魅力に及ぼす効果を検証

研究成果のポイント

- ・ マスクを装着した時と外した時の顔の印象変化を実証的に検証した。
- ・ ピンク色と白色のマスクを装着した時の、色による顔の印象変化を検証した。
- ・ 検証の結果、ピンク色のマスクが女性の見た目の魅力を上げることがわかった。

研究成果の概要

本研究は世界初のマスク着用効果に関する実証研究です。近年、風邪や花粉症対策でマスクを装着する人が増えています。マスクは顔の半分を隠すために表情が伝わりにくく、対人関係や対人魅力を損なう可能性が示唆されていました。マスク着用と魅力の効果の関係を調べるために、北海道大学大学院文学研究科の河原純一郎特任准教授が、ユニ・チャーム株式会社及び中京大学の宮崎由樹助教と共同で、1) マスク着用の有無、2) マスクの色の違い、による女性の顔の魅力診断を行い、マスクが顔の魅力知覚に及ぼす影響を検証しました。その結果、元々の魅力に関係なくピンク色のマスクが女性の見た目の魅力を上げることがわかりました。

この研究成果を活用した女性用マスク（『超快適マスク 女性用』）が、共同研究先のユニ・チャーム株式会社より9月1日（火）に全国で発売されました。

研究成果の概要

(背景)

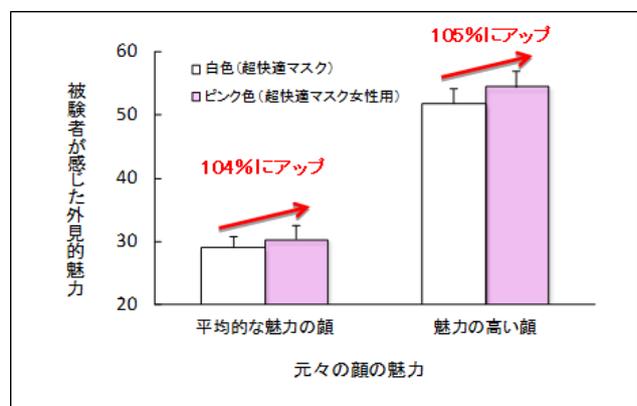
近年、マスク装着者の増加に伴い、マスクのつけ心地という本来機能のほかに、デザインや見た目などの二次的な機能も重視されるようになってきました。マスクをつけることで顔の魅力は変化するのか、どのようなマスクが魅力を向上させるのか。本研究は、そのような問いに科学的かつ定量的な答えを出すために行った、顔の魅力判断の実証的検証です。

(研究手法)

ピンク色と白色のマスクをつけた20~30歳代の女性20名の顔画像をコンピュータ画面上に1枚ずつ呈示し、18歳以上の男女合計33名の評価者が顔画像1枚ごとに感じる外見的魅力を、1~100の範囲で評定しました。

(研究成果)

元々の顔の魅力に関係なく、ピンク色のマスクをつけた顔画像の方が、外見的魅力が高く評価されることがわかりました。このことから、ピンク色のマスクには、女性を魅力的にみせる効果があることがわかります。



<関連情報>

- ・本研究の基になった研究手法と学術的仮説（宮崎・佐藤・河原(2013)）は、本年度9月21日（月）の日本心理学会第79回大会会員集会で学術大会特別優秀発表賞の受賞が内定しています。
- ・[ユニチャームニュースリリース]
優しいベビーピンク色に新改良！女性をより魅力的に見せるマスク『超快適®マスク 女性用』定番化
http://www.unicharm.co.jp/company/news/2015/1200398_3936.html

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学大学院文学研究科 特任准教授 河原 純一郎（かわはら じゅんいちろう）
TEL：011-706-4154 E-mail：jkawa@let.hokudai.ac.jp
ホームページ：<http://www.let.hokudai.ac.jp/staff/4-1-09>
<http://cogpsy.let.hokudai.ac.jp/~f209/index.html>